

令和7年度

# 「運営に関する計画」

【最終評価】

大阪市立東三国小学校

令和8年2月

大阪市立東三国小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 本校は、「全ての子どもの学びを保障し、共に学び、共に育つ教育の実践」を学校教育目標とし、「やりぬく子」「協力する子」「自ら考える子」の育成に取り組んでいる。
- 教育活動アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」(児童アンケート)で肯定的な回答をする児童の割合は、令和2年度88%、令和3年度91%、令和4年度が87%と高く、学校生活が安全で楽しく充実しているものと考えられる。今後も、この状態を維持していきたい。
- 教員の研修に力を入れてきた結果、児童の学力については、少しずつ向上が見られ、令和3年度の小学校学力経年調査における国語科・算数科の平均正答率の対全国比は、1.0に近づいている。本校は、児童の「主体的・対話的」な学びを深めることにより学力向上が図れると考え、取り組んでいる。今後も、児童の「主体的・対話的」な学びを深めるために、教員の研修に重点を置いていく。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合が令和3年度は47.4%と、コロナ禍にも関わらず高めだった。今後は、実際に体を動かす活動を引き続き取り入れるとともに、児童が、体を動かす楽しさがわかるように工夫していきたい。
- 本校には、大阪市より譲り受けた市電の車両があり、電車図書館として活用している。コロナ禍では、狭い空間に多数の児童が入ることや、効率的に換気ができないことから活用を中止していたが、令和4年度より再開している。今後、さらに図書に親しむ児童を育てる手立てとしたい。
- 地域や保護者との関わりについては、学校行事に対して大変協力的で、行事への地域・保護者の参加率は高い。コロナ禍で行事が中止となったり、実施しても地域や保護者の方に参加していただくことが難しかったりしていたが、今後は、行事のあり方を見直し、地域や保護者とのつながりを深めたい。

中期目標

**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思う」および本校教育活動アンケート(児童アンケート)における「学校が楽しい」の項目について、肯定的な回答の数値を93%以上に向上させる。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を45%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校の授業時間以外に、ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、まん画や雑誌は除く）。」に対して、10分以上の回答する児童の割合を80%以上にする。
- 令和7年度の教育活動アンケート（保護者アンケート）における「学校は、地域の人材や施設などを活用した活動に取り組んでいる」の項目について、肯定的な回答の割合を93%以上にする。

## 2 中期目標の達成状況

### 中期目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思う」および本校教育活動アンケート（児童アンケート）における「学校が楽しい」の項目について、肯定的な回答の数値を93%以上に向上させる。

3年72.4% 4年86.3% 5年81.4% 6年93.8%

平均値83.5% 達成状況×

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を45%以上にする。

3年41.4% 4年52.9% 5年34.9% 6年47.9%

平均値 44.3% 達成状況×

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。

**3年79.3% 4年74.5% 5年65.1% 6年75.0%**

**平均値 73.5% 達成状況○**

**【学びを支える教育環境の充実】**

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校の授業時間以外に、ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、まん画や雑誌は除く）。」に対して、10分以上の回答する児童の割合を80%以上にする。

**3年51.7% 4年45.2% 5年55.9% 6年54.2%**

**平均値 51.8% 達成状況×**

- 令和7年度の教育活動アンケート（保護者アンケート）における「学校は、地域の人材や施設などを活用した活動に取り組んでいる」の項目について、肯定的な回答の割合を93%以上にする。

**30.6+42.5 73.1% 達成状況×**

### 3 中期目標の達成に向けた年度目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

##### 学校園の年度目標

- ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 88%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- ・ 教育活動アンケート（保護者アンケート）における「学校は命や人権を尊重する態度を育てる取り組みを行っている」において、もっとも肯定的な回答の割合を 45%以上にする。
- ・ 教育活動アンケート（児童アンケート）における「たてわり班で、みんなと協力して活動している」において、もっとも肯定的に回答する児童の割合を 82%以上にする。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

##### 学校園の年度目標

- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、もっとも肯定的に回答する児童の割合を 54%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、もっとも肯定的に回答する児童の割合を 71%以上にする。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

##### 学校園の年度目標

- ・ 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 78%以上にする。
- ・ 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 87%以上にする。
- ・ 教育活動アンケート（児童アンケート）における「週に 1 回以上、本に慣れ親しんでいる」において、もっとも肯定的に回答する児童の割合を 72%以上にする。
- ・ 教育活動アンケート（児童アンケート）における「地域の人と一緒に、学習活動に取り組んでいる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。

## 大阪市立東三国小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を88%以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</li> <li>・教育活動アンケート（保護者アンケート）における「学校は命や人権を尊重する態度を育てる取り組みを行っている」において、もっとも肯定的な回答の割合を45%以上にする。</li> <li>・教育活動アンケート（児童アンケート）における「たてわり班で、みんなと協力して活動している」において、もっとも肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。</li> </ul>	C

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>本校の学校教育目標ならびに学校安心ルールの4つの「めざす子ども像」のもと、全教職員が協働し、児童が落ち着いて学習に取り組むことができる環境を整備する。</p> <p>指標 児童の生活指導面における全体協議の場を月1回以上行い、教職員間で児童の現状と指導の結果を情報共有する。</p>	B
<p>取組内容②【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いつ起こるかかわからない災害等に備え、児童・教職員・保護者が防災の意識を高められるようにする。</p> <p>指標 ささまざまな状況を想定した避難訓練を年3回実施する。また、1学期中に災害等を想定した保護者引き渡し訓練を行う。</p>	B
<p>取組内容③【2 豊かな心の育成】</p> <p>「自分を大切にし、他の人も大切にできる」子どもの育成をめざした人権教育を推進する。</p> <p>指標 各学年の年間指導計画をもとに、人権教育の取り組みを毎学期行う。</p>	B

<p>取組内容④【2 豊かな心の育成】 たてわり班活動や異学年との交流を通して、互いに助け合う集団を育むとともに、高学年児童は周囲の手本になれるよう意識づけを行う。</p>	A
<p>指標 たてわり班による異学年交流を毎月実施し、たてわり班で行う学校行事を毎学期設定する。</p>	
<p>取組内容⑤【2 豊かな心の育成】 発達障がいに関する研修を重ね、インクルーシブ教育推進スタッフや巡回相談の活用による教職員・児童・保護者等に対する支援体制を構築する。</p>	B
<p>指標 合理的配慮の観点をもとに「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成し、年間を通じて3回見直しを行う。</p>	
<p>取組内容⑥【2 豊かな心の育成】 演劇や音楽などの優れた芸術を鑑賞することで、児童の豊かな情操を養い、芸術を愛する心を育てる。</p>	B
<p>指標 多様な芸術を鑑賞できるように計画し、劇団などを招いた演劇や音楽の鑑賞会を年に1回以上実施する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

学校の年度目標

- ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を88%以上にする。  
3年84.5% 4年92.2% 5年95.3% 6年100%  
平均値93.0% 達成状況○
- ・ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。  
3年72.4% 4年86.3% 5年81.4% 6年93.8%  
平均値83.5% 達成状況×
- ・ 教育活動アンケート（保護者アンケート）における「学校は命や人権を尊重する態度を育てる取り組みを行っている」において、もっとも肯定的な回答の割合を45%以上にする。  
37.5% 達成状況×
- ・ 教育活動アンケート（児童アンケート）における「たてわり班で、みんなと協力して活動している」において、もっとも肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。  
70.2% 達成状況×

取組内容

- ① 毎月の職員会議後に、各学級における生活指導に関する事案や課題を抱える児童の様子について情報を共有する場を設けることができた。共有した情報をもとに、教職員間で連携して対応し、子どもたちが落ち着いて学習に取り組むことができる環境を整備した。
- ② 1学期に『火災からの避難』『保護者への引き渡し』、2学期には『地震・津波からの避難』『不審者からの避難』の訓練を計画通りに実施した。実施の際には、訓練の目的や想定内容を児童の実態に合わせて説明し、緊張感をもって取り組ませることができた。また、土曜授業で地域の防災訓練に参加した。見学や体験を通して防災への意識を高め、実際に災害が起こった際の地域の動きについても学ぶことができた。6年生は防災士の方を招いて、避難所

の設営や運営の体験にも取り組み、自分にできることについて考える機会となった。

- ③年間計画をもとに、各学年が取り組みを実施することができた。また、今年度は区の実践交流会の報告に向けても校内で取り組んだ。2月下旬には実践のまとめを行う。
- ④毎週の児童集会では、縦割り班でさまざまな遊びに取り組んだ。学校行事においても、1学期「スクールフェスティバル」「全校オリエンテーリング」、2学期「みんなで遊ぼうプロジェクト」、3学期「卒業を祝う会」を計画通り実施することができた。これらの活動を通して互いに助け合い支え合う集団づくりが進んだ。また、高学年児童は班をリードする立場として責任感を高め、低学年児童にとってのよき手本となることができた。
- ⑤支援体制構築や通級開設のために、巡回指導（継続）やインクルーシブ教育推進スタッフによる支援を活用し、情報共有できるようにした。また、「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」については、計画に沿って作成・見直しを行うことができた。
- ⑥児童が楽しめるワークショップを実施するとともに、フレッシュコンサートや和太鼓演奏、劇鑑賞など多様なジャンルに触れる機会を設定することができた。多彩な体験活動を通して、児童の興味・関心を広げる取組となった。

#### 次年度への改善点

- ①今後も児童の情報を共有する場を確保する。
- ②今後も様々な場面を想定して、訓練を計画・実施していく。防犯訓練に関しては警察の方を呼んで不審者役を立てて実施する予定。
- ③来年度も引き続き行う。また、児童の実態に応じた人権教育を模索、推進していく。
- ④縦割り班活動や異学年交流は次年度も継続する。その際、今年度の活動の成果と課題を十分に振り返り、反省を踏まえて内容や運営方法を見直し、より効果的な取り組みとなるよう改善を図っていく。
- ⑤今後も研修を重ね、外部の支援を活用しながら支援体制を構築し、情報共有のためのより良い方法を工夫していく。「個別の支援計画」「個別の指導計画」については、引き続き、計画に従って作成・見直しを行う。
- ⑥実施回数が多く、児童や教職員の負担感が見られたため、内容や回数の精選を図る必要がある。また、高学年においては鑑賞だけでなく、演者と直接交流し話を聞く機会を設けるなど、段階に応じた学びの充実を図ることが今後の課題である。

## 大阪市立東三国小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、もっとも肯定的に回答する児童の割合を54%以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、もっとも肯定的に回答する児童の割合を71%以上にする。</li> </ul>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりの研鑽を続ける。</p> <p>指標 授業づくりや教科の専門性を高める研鑽を続けるよう、授業研究会を年間3回実施する。</p>	B
<p>取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「広げ・深まる授業」をめざし、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業力を向上させる研修をする。</p> <p>指標 授業づくりの質を向上させるために、年間5回の研修会を実施する。</p>	B
<p>取組内容③【5 健やかな体の育成】</p> <p>健康週間の実施、学級での指導、保健啓発、委員会活動を通して健康的な生活習慣が身につくように指導する。</p> <p>指標 健康に対する児童への意識づけを図るために、健康委員会で毎月1回の健康調べを行い、学期に1回の健康週間ではふりかえりカードを活用し、自身の健康や生活習慣について振り返る。</p>	B
<p>取組内容④【5 健やかな体の育成】</p> <p>体育科の授業の充実や休み時間に積極的に運動場で活動し、意欲的に体力づくりに取り組めるようにする。</p> <p>指標 年3回以上の「かけ足週間」や「なわとび週間」等の取り組みを、運動委員会と連携して実施する。</p>	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

### 学校の年度目標

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、もっとも肯定的に回答する児童の割合を54%以上にする。

3年41.4% 4年52.9% 5年34.9% 6年47.9%

平均値 44.3% 達成状況×

- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、もっとも肯定的に回答する児童の割合を71%以上にする。

3年79.3% 4年74.5% 5年65.1% 6年75.0%

平均値 73.5% 達成状況○

### 取組の進捗状況

- ①今年度は、総合的読解力の授業研究会を計画通り3回実施することができた。また、全学年で総合的読解力の実践に取り組んだことで、指導のポイントを理解することができた。
- ②総合的読解力や外国語、体育や図工、特別支援などの研修を年間5回実施することができた。
- ③毎月1回の健康調べ、学期に1回の健康習慣を通して、手洗いやふわふわ言葉について振り返り、意識が向上した。ハンカチ、ティッシュを持ってくことや、外遊びの後の手洗いなどでは、声掛けが必要な児童もいるので、継続的な指導が必要。
- ④「かけ足週間」や「なわとび週間」などの取り組みを年3回以上することができた。昼休みの講堂開放やドッジボール大会、シーウィードなども行い、楽しく体を動かせる機会をつくることができた。

### 次年度への改善点

- ①授業研究会だけでなく、公開授業もできるだけ互いに参観し、授業づくりや教科の専門性を高めていけるようにする。
- ②ニーズに合った研修会を行い、教員が研修で学んだことを日々の授業に取り入れようとする心構えをもって実践していくようにする。
- ③健康的な生活習慣を身に着けるために、保護者への啓発をさらに進める。学級全体でできていない項目を把握し、児童が自発的に取り組めるような指導の仕方を工夫すること。
- ④さらに取り組み内容や方法、ルールを改善し、意欲的に取り組めるようにしていく。

## 大阪市立東三国小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の78%以上にする。</li> <li>・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を87%以上にする。</li> <li>・教育活動アンケート(児童アンケート)における「週に1回以上、本に慣れ親しんでいる」において、もっとも肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。</li> <li>・教育活動アンケート(児童アンケート)における「地域の人と一緒に、学習活動に取り組んでいる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</li> </ul>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6 教育DXの推進】</p> <p>学習者用端末を用いた学習や活動を充実させ、ICT教育の推進を図る。</p> <p>指標 心の天気を登校時と下校時につけ、授業でICTを活用するための研修会を実施する。</p>	B
<p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>教職員の適切な勤務状況を維持し、超過勤務にならない工夫を模索しつつ、適度にゆとりが持てるような働き方に努める。</p> <p>指標 ゆとりある働き方にできるよう、学校行事や教育活動を精査し、減らす。</p>	B
<p>取組内容③【8 生涯学習の支援】</p> <p>学校図書館、電車図書館を定期的に関開館し、「読み聞かせ」については地域ボランティアの協力を得る。大阪市の施策「特色ある図書館活用」を踏まえながら地域の力も活用する。</p> <p>指標 昼休みの図書館開放を週に3回行う。また、地域ボランティアの方による「読み聞かせ」の取り組みを、毎学期、計画・実施する。</p>	B
<p>取組内容④【9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>米作り体験学習など地域人材を活用し、児童の学びを支える教育環境を地域とともに充実させる。</p> <p>指標 家庭・地域と連携・協働した教育活動を学年ごとに計画的に実施する。</p>	B

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

### 学校の年度目標

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の78%以上にする。

5月94.7% 6月95.0% 7月100% 8月100% 9月95.0%  
10月90.9% 11月100% 12月100% 1月80.0% 平均94.1%

**達成状況○**

- ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を87%以上にする。

**93.5% 達成状況○**

- ・教育活動アンケート（児童アンケート）における「週に1回以上、本に慣れ親しんでいる」において、もっとも肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。

**62.8% 達成状況×**

- ・教育活動アンケート（児童アンケート）における「地域の人と一緒に、学習活動に取り組んでいる」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

**62.2+26.8 89.0% 達成状況○**

### 取組の進捗状況

- ①登校時、下校時に心の天気をつける習慣はついてきたが、学級による差が大きい。ICT研修会を複数回実施し、授業の中で子どもたちが考えをまとめたり、発表のための資料作成をしたりして学びを深めることができた。デジタルドリルも、長期休暇の課題として活用するなど普及が進んだ。
- ②6年秋の遠足、スポーツ交歓会など行事の削減をし、教育活動の精査をすすめているが、負担軽減の実感につながらない。
- ③図書館開放、読み聞かせ活動が計画通りに実施され、子どもたちが本に触れ親しむ機会が増えた。
- ④家庭・地域と連携協働した教育活動に各学年、全校で取り組んだ。
  - 1年…むかしあそび
  - 2年…種まき、苗植え、まちたんけん、えきたんけん
  - 3年…地域の方とのふれあい
  - 4年…敬老会、PTA地域委員会掲示用ポスター
  - 5年…米作り（田植え・稲刈り・脱穀・しめ飾りづくり）
  - 5・6年…東三国地域標語募集

3～6年…敬老会お祝いカード  
全校…ピカピカ東三国、防災訓練  
環境委員会…公園清掃  
ダンスクラブ…子ども文化の集い、東三国音楽祭

次年度への改善点

- ①入力率や活用率が分かる仕組みを作り、学級間格差を小さくする。ICT活用の場面や効果を共有し、さらに使いやすくする。
- ②時間的なゆとりの検証のため、勤務時間や超過勤務の数値を計上するなどの確認方法に変更する。
- ③読書ノートの活用を家庭もあわせて進めていく。担任による読み聞かせの機会を設けるなど読書ボランティアの人数に合わせた取り組み方を工夫する。
- ④地域との協働の学習活動について、学校全体の取り組みとして校内の理解をより深める。